

品質(製造方法、規格及び試験方法、安定性)とGMP

開発初期から治験までにどのように治験薬を供給するかについて皆様と知識を共有します。

2025.10.15 水 16:30-18:00

オンライン形式 [Zoomウェビナー] 事前登録必要

**事前
登録**

聴講を希望の方は、右記二次元コードまたは下記URLより事前登録ください▶

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_eFousfigSI08PLHxmLENQA

**対 象**

学内教職員・C-DAM参加大学 教職員

PM・StMを目指す方、実用化を目指すシーズ開発を行っている研究者

※ARO協議会プロジェクトマネジャー及びスタディーマネジャーの認定制度受講単位対象セミナーとして単位の取得が可能です。(予定)
Zoom事前登録の際、画面にてご希望の有無を登録いただき、ご希望の方には修了証を発行しております。

座 長

橋渡し研究統括本部 橋渡し研究シーズ探索センター

特任教授 菊地 佳代子



北海道大学病院 医療・ヘルスサイエンス研究機構

元教授・現 臨床開発コーディネーター

杉田 修 先生

Profile

企業において非臨床開発部門で医薬品の開発に従事し、その後北海道大学の橋渡し研究(教授 副センター長)に携わっていました。定年後も引き続きアカデミアでの開発支援に携わっています。専門は薬物代謝/体内動態ですが、企業で医薬品の非臨床開発(全般)/治験薬製造/品質保証/監査などの実務やPJT管理/運営に従事した経験を基に、アカデミアにおいて支援を続けています。アカデミアでの医薬品等の開発は限定的なリソースの中で如何に合理的に開発を進めるかがポイントになります。今回の講義では非臨床開発のなかでも治験開始に深く関わる開発候補物質の物性評価から治験薬の供給までの道のりについて触れ、今後の開発の加速化に資することを目的といたします。

